

情報 FUKUOKA 第92号



トライ



九州旅客鉄道労働組合
福岡地方本部

発行責任者 岩永 康志
編集責任者 宮路 享

北九州市小倉北区室町3-137-1
NTT (093) 583-3385
JR (091) 4307~4308

労働組合の役割など学ぶ

ニューメンバーズセミナー 南地協

福岡地方本部南地域協議会は、6月22日に福岡市内で「2013ニューメンバーズセミナー」を開き、平成25年度入社社の社員とパートナースタッフの新規組合員約100名が参加、労働組合が果たしている役割や、JR九州労働組合が取り組んでいる活動などを学びました。また、セミナー後に行われたレセプション(懇親会)では、参加者同士の親睦を図るとともに、JR九州労働組合の一員として奮闘していく決意を誓いあいました。



ニューメンバーズセミナーは、新たにJR九州労働組合の仲間となった、今年度入社した社員と、昨年のニューメンバーズセミナー以降に入社したパートナースタッフを対象に毎年開かれているもので、今年度も多くの新規組合員が集まりました。



セミナーでは、福岡地本を代表して岩永委員長が、JR九州労働組合への加入に対して謝辞を述べるとともに「JR労働条件の改善にむけた取り組みが、JR連合とJR九州労働組合に結集し、JR九州労働組合が抱える政策課題の解決にむけて、一体となって取り組んでいくことが大切である。今日のセミナーで何かひとつでも学んでいただき、今後、参加者の中からJR九州労働組合の運動を担っていただく方が一人でも多く輩出されることを切に願う」とあいさつしました。また、7月に施行される参議院議員選挙に対して、投票率が低いとされる若い世代に、選挙の重要性と、JR九州労働組合が推薦する各候補への支援を要請しました。

その後、教宣部より労働組合の役割や、JR九州労働組合の概要、安全確立や政策活動、労働条件の改善にむけた取り組みなど、スライドを用いて説明を行いました。(写真見)

参加者からは「組合と聞いて堅いイメージがあったが、労働組合がボランティアなど、多岐にわたる活動をしていくことに驚いた。レクリエーションなどの活動もあり、是非参加してみたい」との声も多く聞かれました。

福岡地方本部では、今後とも新規組合員が参加しやすく、分かりやすいセミナーを目指して取り組んでいきたいと考えています。なお、北地域協議会のニューメンバーズセミナーは、7月5日(金)に北九州市内で予定されています。

福岡地方本部

今月の顔

福岡地方本部の役員を紹介するコーナー。今月はこの方です。

たがしら まさのり

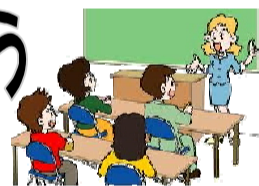
田頭 正憲 書記長



- 生年月日 1960. 8.22
- 出身地 福岡県
- 職 場 直方運輸センター

(イラスト) 博多新幹線業務所分会 平野 啓介 さん

女性が働きやすく、活躍できる環境を創ろう ＝地本女性会議で意見交わす＝



福岡地方本部は、6月29日北九州市内で「第1回地本女性会議」を開き、駅や乗務員職場、旅行事業で働く女性組合員15名が参加、女性が働きやすく活躍できる環境を造るとともに、女性が参加しやすい組合活動の在り方について意見を交わしました。(写真見)

会議では、中央本部の副島政策担当部長より、男女平等参画委員会の取り組みについて報告がなされ、結婚や出産、育児と仕事の両立など、ワーク・ライフ・バランスの実現にむけ、長期的に働ける環境づくりが必要であると訴えました。その後、連合福岡女性委員会の水

室委員長が、連合福岡の取り組みや、福岡県における女性組合活動への参加状況など分析したうえで、女性の組合活動の参加率の低さは、社会や文化がとる男女の区分け、いわゆるジェンダー意識によるものが大きいと問題提起を行いました。

また、JR西労働組合中央本部の白壁企画部長より、女性が働きやすい労働条件・職場環境の向上にむけて、JR西労働組合が取り組んできた事例を紹介し、女性が働くうえで起きる様々な問題は、女性の声がないと解決することができず、これらの問題解決のためには、女性が組合運動に参画していくことが重要であると、女性の組合運動への積極的な参画を呼びかけました。

福岡地方本部では、今後も女性組合員が働きやすく、活躍できる環境を造り、女性の意見を組合運動に反映させる取り組みを継続して行いながら、ワーク・ライフ・バランスの実現にむけ運動を強化していくこととしています。

みんなで考えよう 沖縄戦の実相と悲惨さ、平和の尊さを

1945年太平洋戦争末期、沖縄に上陸した米軍と日本軍との激しい地上戦が行われ「鉄の暴風」と表現された地獄のような日々は、20数万人に及ぶ尊い命を奪い、民間人の犠牲者数は、軍人の死者をはるかに上回り、海と緑の自然豊かな島は、無残にも焦土と化しました。6月23日は、唯一地上戦が行われた沖縄戦で、日本軍の組織的な戦闘が終わった日とされ「慰霊の日」に定められています。戦後27年間、米軍の統治下におかれ、軍事基地から発生する様々な問題で苦しめられてきた沖縄県民が、島をあげて復帰運動を進めた結果、悲願であった祖国復帰を果たしました。

全国の米軍基地の74%が沖縄に集中

しかし、国土面積のわずか0.6%に過ぎない沖縄県に、全国の米軍基地の74%が未だに集中しており、米軍基地があるが故に起こる事件・事故が多発、県民の生命と生活が脅かされています。米軍基地問題の象徴とも言える普天間基地は、早期返還がまだ解決しておらず、多くの沖縄県民が反対するなか、政府は辺野古移設の準備を着々と進めています。

私たち一人ひとりに出来ることは限られていますが、沖縄戦の実相と悲惨さ、平和の尊さを学び、米軍基地問題の解消と、基地の整理縮小を求めて、粘り強く平和運動を推進していきましょう。



宜野湾市にある米軍普天間基地。周囲は想像以上に住宅が密集している。

ノースサイド

第23回参議院議員通常選挙が7月4日公示、21日投票の日程で施行される。今回の選挙からこれまで禁止されていた選挙期間中のウェブサイトに更新など、インターネットを使用した選挙活動が解禁されたことと、注目を集めているが、ネット選挙解禁と言っても、解禁されるのは「選挙活動」であって、自宅や外出先からPCやスマートフォンから投票ができるようになるわけではない。▼「ネット選挙」というフレーズから、自宅でもインターネットから投票できるといふイメージが連想されるためか、各地の選挙管理委員会に問い合わせが相次いでいるようだ。このような事態を受け、各自治体では有権者に注意を促す内容の文書を配布するなど対策に追われている。▼ネット選挙活動が解禁となったことで、効果も課題も出てくるだろうが、様々な情報に流されることなく、きちんと自分で判断し、投票所へ足を運び、一票投じよう。